

3 シティドレッシング（区内装飾）

東京2020エンブレム（平成28年4月25日発表）や東京2020マスコット（平成30年2月28日発表）、東京2020スポーツピクトグラム（オリンピックは平成31年3月12日発表・パラリンピックは平成31年4月13日発表）などのポスターやのぼり等を活用し、区役所本庁舎をはじめとした区施設を彩りました。

平成28年度からは、未就学児が東京2020大会に親しみが持てるよう、エンブレムや読みがなを入れた区独自の普及啓発ポスターを作成し、区内保育園・子ども園・幼稚園で掲出しました（令和2年度まで）。

また、株式会社ロッテ旧新宿工場跡地（百人町二丁目、戸山小学校裏門前）では、パラスポーツイラスト「Be The HERO」の展示（平成29年3月29日～7月末）を行うなど、区独自の取組みを行いました。



新宿区役所本庁舎内での東京2020大会PRポスターの掲出



区内保育園・こども園・幼稚園に掲出した読みがな入りの普及啓発ポスター



株式会社ロッテ旧新宿工場の建屋解体の際の仮囲いに展示したパラスポーツイラスト「Be The HERO」

そして、平成30年度からは、区施設等への本格的な装飾により東京2020大会の開催気運を盛り上げ、区民や来街者等へ広くPRする取組み「新宿シティドレッシング」をスタートしました。

【東京2020大会の気運醸成及び大会PRのための装飾「新宿シティドレッシング」】

装飾名	実施期間	詳細
エレベーターラッピング	平成31年2月～令和3年12月	P.41
区施設外壁の大型ラッピング	平成31年2月～令和3年12月	P.42
区施設出入口の東京2020エンブレム・マスコットラッピング	平成31年2月～令和3年12月	P.43
庁用車ラッピング	令和元年11月～令和3年9月	P.44
陸上競技シルエットシールラッピング	令和元年12月～	P.45
「その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020」絵画コンクール配電地上機器へのラッピング	令和2年1月～(令和6年度まで掲出予定)	P.46
大会マスコット像の展示	令和3年2月～	P.47

エレベーターラッピング

日時 平成31年2月～令和3年12月

場所 区施設13施設
(新宿区役所本庁舎、新宿区役所第一分庁舎、特別出張所(10所)、産業会館)

内容

東京2020大会関連の装飾を通じて区民や来街者等へ広くPRし、大会の開催気運を盛り上げる取組み「新宿シティドレッシング」の第1弾として、区施設(13施設)のエレベーター扉を東京2020オリンピック・パラリンピック競技のイラストでラッピング(装飾)しました。

エレベーター扉のデザイン制作は、東京2020大会の気運醸成に関する連携協定を締結した宝塚大学(東京メディア芸術学部・大学院メディア芸術研究科)の学生が行いました。

デザインは、「競技シルエットデザイン」と「漫画風デザイン」の2種類を制作。「競技シルエットデザイン」は、選手の一連の動作を3扉(3カット)で表現したり、3扉で一枚の競技風景とするなど、競技の躍動感がダイナミックに表現されたデザイン。また、「漫画風デザイン」は、日本ならではの漫画の技法を活用して、競技の迫力や魅力を分かりやすく表現した親しみやすいデザインでした。



デザインを担当した宝塚大学(東京メディア芸術学部・大学院メディア芸術研究科)の学生の制作風景です。



新宿区役所本庁舎2階「陸上競技(パラリンピック)」
デザイン：各競技のシルエット



新宿区役所第一分庁舎1階「サッカー及び5人制サッカー」 デザイン：漫画風

※デザインの一覧は、資料集(P.108～110)参照。

区施設外壁の大型ラッピング

日 時

平成31年2月～令和3年12月

場 所

区施設6施設(新宿区役所本庁舎、新宿区役所第一分庁舎、四谷区民センター、新宿コズミックセンター、新宿スポーツセンター、新宿文化センター)

内 容

「新宿シティドレッシング」の第2弾として、区施設(6施設)に、東京2020エンブレムや東京2020マスコット等を活用した大規模な壁面ラッピングを実施しました。

新宿区役所第一分庁舎では、オリンピックカラーを模した5色の光でのライトアップも実施しました(令和2年4月から新型コロナウイルス感染症と向き合いながら奮闘する医療従事者への感謝の気持ちを表すべく、青色の光でのライトアップを行いました)。

なお、ラッピングに共通して用いている「みんなの歓声 みんなが輝く」は、東京2020大会に向けた新宿区独自のスローガンです。区内の中学生が考えたフレーズを集約して制作したもので、生徒たちの「みんな選手たちにあたたかい声援をおくりたい」「東京2020大会はみんなが主役になる」という思いが込められています。



第一分庁舎では、5色の光が壁面を照らしました。

新宿区役所本庁舎 (1階正面玄関)

鮮やかな競技シルエットが来庁者を出迎えました。

その隣には、大会デザイン自販機を令和3年12月まで設置。売上の一部は、未来のアスリート育成・強化などに活用されます。



新宿コズミックセンター



遠くからでも多くの人々から見える明治通りに面した壁面に掲出しました。

新宿スポーツセンター



都立戸山公園を行き交う人々から見える位置に掲出しました。

【デザイン協力】宝塚大学(東京メディア芸術学部)

区施設出入口の東京2020エンブレム・マスコットラッピング

日時 平成31年2月～令和3年12月

場所 区施設164施設

内容

「新宿シティドレッシング」の第3弾として、区施設（164施設）の出入口に、表側には東京2020マスコットの「ミライトワ」「ソメイティ」、裏側には東京2020エンブレムの装飾を実施しました。



外扉デザイン(東新宿保健センター)



内扉デザイン(新宿区役所本庁舎)



外扉デザイン(障害者生活支援センター)

庁用車ラッピング

日 時 令和元年11月～令和3年9月

対 象 庁用車74台

内 容

区が業務で使用する庁用車に、大会PRのためのラッピングを行いました。庁用車のうち清掃車両（18台）は、大きいサイズの競技シルエットで装飾。これは、本庁舎や第一分庁舎の外壁に設置した大型ラッピングのデザインを用いて制作したものです。



清掃車両のラッピング

また、清掃車両以外の庁用車（56台）には、東京2020マスコットのミライトワ・ソメイティをデザインした小さいサイズのマグネットシートを制作し、各車体の両側に装飾しました。



清掃車両以外の庁用車のラッピング

陸上競技シルエットシールラッピング

日時 令和元年12月～

場所 区施設44施設(区立学校(40校)、四谷区民センター、四谷保健センター、四谷ひろば、角筈特別出張所)

内容

区内にある国立競技場での実施競技である「陸上競技」。陸上競技のアスリートのスピードや跳躍力がどれほどすごいかを実感できる原寸大シルエットシールを、区立学校及び区施設に設置しました。

シルエットシールのデザインは、エレベーターラッピングなどのデザインに続き、宝塚大学（東京メディア芸術学部・大学院メディア芸術研究科）の学生が制作したものです。

各学校に設置したシルエットシールは、東京2020大会のレガシーとして、大会終了後もオリパラ教育で活用していきます。



戸塚第二小では、走り高跳びの世界記録を自分の身長と比べる児童の姿も。



戸塚第三小では、選手のシルエットを通じてハードルの跳び方を学びました。



オリンピック陸上の走り幅跳び(西新宿小)。世界記録8.95mの凄まじさが実感できます。



パラリンピック陸上の走り高跳び(東戸山小)。最高点に到達した選手の動きを表しています。

「その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020」 絵画コンクール 配電地上機器へのラッピング

期 間 令和2年1月～(令和6年度まで掲出予定)

場 所 区内主要駅周辺やパラリンピックマラソンコース沿道などの歩道上
(配電地上機器320基)

内 容

歩道上に設置されている「配電地上機器」のうち、主要駅周辺や東京2020パラリンピックのマラソンコース沿道の320基に、子どもたちの絵をラッピングしました。

ラッピングした作品は、令和元年夏に募集した「その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020」絵画コンクール（P.31参照）の作品から選定した320点です。

東京2020大会で行われたオリンピック競技やパラリンピック競技を応援する気持ちのこもった作品のほか、子どもたち自身ががんばりたいこと（サッカーや柔道などのスポーツ、外国語での道案内、身近な地域の清掃など）を描いた作品など多彩な作品が街なかに彩りを与えています。

なお、本装飾は、東京2020大会のレガシーとして、令和6年度まで継続する予定です。



アスリートの方からも「子どもたちの絵から元気をもらえた。」などの声がありました。



除幕式には中学生の部の金賞受賞者も参加しました。

除幕式に参加した金賞受賞者の感想



「大会を支えるボランティアを手で、観客の期待と選手の情熱を炎で表現した。見た人が開催を楽しみに思ってくれたらうれしいです。」

大会マスコット像の展示

期 間	令和3年2月～
場 所	新宿スポーツセンター、区役所第一分庁舎、四谷スポーツスクエア、新宿歴史博物館
内 容	

大会への気運を高めるため、東京2020パラリンピック開催200日前（令和3年2月5日）を契機に、区内の4施設に大会マスコット像を設置しました。

特に、高さ約150cmほどのLサイズのマスコット像を設置した新宿スポーツセンターでは、訪れた子どもたちが、マスコット像にかけ寄ったり、家族連れと一緒に写真を撮ったりする姿もあり、来館者からも好評です。

今後も、東京2020大会のレガシーとして、多くの区民の方にご覧いただけるよう、各施設での展示を行ってまいります。



オリンピック大会マスコット像(左)、パラリンピック大会マスコット像(右)

【数量、大きさ、展示場所等】

	Lサイズ	Sサイズ
数量	1セット(計2体)	3セット(計6体)
大きさ	W約90cm×H約150cm	W約18cm×H約20cm
重量	約22kg	約2kg
展示場所 (大会終了まで)	新宿スポーツセンター (1階 ロビー)	<ul style="list-style-type: none"> 区役所第一分庁舎(地下2階) 四谷スポーツスクエア(地下2階) 新宿歴史博物館(1階)
展示場所(※1) (大会終了後)	新宿スポーツセンター (1階 ロビー)	<ul style="list-style-type: none"> 四谷スポーツスクエア(地下2階) 新宿コズミックセンター(1階) 新宿養護学校(※2)

※1 今後の展示場所については、変更の可能性があります。

※2 新宿養護学校に展示しているマスコット像については、一般の方はご覧いただけません。

～商店街フラッグがオリンピック・パラリンピック仕様に～

東京都は、令和元年度から東京2020エンブレムなどがあしらわれた5色展開のフラッグの掲出を進め、新宿区内でも48商店街で計1,838枚（令和3年6月時点）のフラッグが掲出され、街を彩りました。

フラッグに用いられたのは、「藍、紅、桜、藤、松葉」の5色で、日本らしい色彩を世界の人々に印象づけるために、「かさねの色目」など平安時代から続く日本の伝統色が用いられました。

区内フラッグ掲出の様子

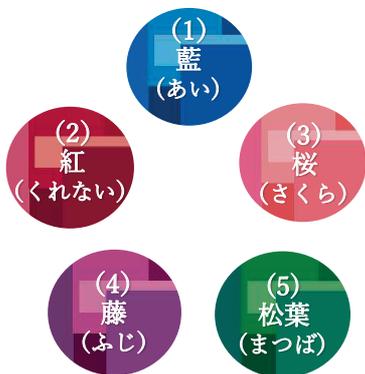


目白通り商いの会



花園町親交会

フラッグに用いられている5色



- (1) 日本人に古くから親しまれてきた青色です。世界でも日本を表す色として広く知られ、東京2020エンブレムの色も藍色のひとつです。
- (2) 赤色は古来より祝事などでよく使われ、日本を象徴する色です。
- (3) 平安時代から日本人に広く親しまれているだけでなく、世界の人々からも知られている桜の花の色です。
- (4) 「藤（ふじ）」 枕草子に登場するなど、古来より日本の美しい花として知られる藤の花の紫色です。
- (5) 「松葉（まつば）」 枕草子に登場する縁起が良い樹として祝事に用いられる松の葉の色です。